

平成
30年度

長寿世界一と子宝日本一の町

伊仙町

いーセン
いってらう!

ふるさと納税 報告書



超 伊仙町

寄付者の皆様へ

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
かねてより伊仙町政に対し、ご支援とご協力を頂き誠にありがとうございます。

伊仙町では、平成21年度から「きばらでえ伊仙応援寄付金」を創設し、平成31年度に10年目を迎えました。平成30年度もたくさんの方々からの寄付金を頂き、これまで多くの事業に活用させて頂きましたので、ここにご報告させていただきます。

少子高齢化が進む日本社会の中で、合計特殊出生率二期連続日本一の本町は、メディアを始め他自治体、研究者の方々からその地域の在り方などが注目を集めており、改めて、「子は宝」の精神文化、多世代に渡る集落単位の交流など、先達が連綿と繋げてきた他者への思いやりを、これからも繋げていきたいと感じております。

頂いた寄付金は、このような伊仙町の地域性を補完することに全て繋がっており、これからも本地域の取組、発展に皆様のお力添えを頂ければありがたいです。

今後ご寄付者皆様のご意向に沿った事業への財源化を元に、さらに力強いまちづくりに努めてまいります。今後とも「ふるさと納税」制度の意義をご理解いただき、伊仙町へのご支援とご協力を頂けますよう、お願い申し上げます。



令和元年6月
伊仙町長 大久保 明

1. ご寄付の概要

伊仙町では、特産品などのお礼の品を受け取れる「ふるさと納税制度」への取り組みとして、「きばらでえ伊仙応援寄附金」を創設しています。寄付金の使い道を予め確定いただいた上で、寄付することができ、地域貢献につながります。

町外にお住いの伊仙町出身者、または応援をしていただける方々に対し、郷土伊仙町に対する応援寄附金を募る取り組みです。

また、確定申告をすることで、税金の一部が還付・控除される特典もあります(寄附額の2,000円を超える部分・上限あり)。みなさまからいただいた寄付金は、希望される事業、伊仙町の施策のために大切に活用させていただきます。

※きばらでえ：徳之島の方言で「頑張ろう」という意味です。

●平成30年度の寄附額

	件数(件)	寄附額(円)
4月	385	2,509,131
5月	320	3,569,153
6月	192	4,055,814
7月	186	3,548,824
8月	93	2,536,280
9月	128	1,867,543
10月	193	5,342,650
11月	302	5,917,771
12月	700	16,478,333
1月	77	13,769,659
2月	93	2,388,111
3月	50	2,119,315
合計	2719	64,102,584

2. ご寄付の指定用途

伊仙町では、7つの用途を用意し、寄付者の皆様へ希望の用途をお聞きして、ご希望頂いた事業へ順次充当しております。

●寄付金の指定用途件数と金額

使用用途	件数(件)	金額(円)
1. 特産品開発	992	21,548,366
2. 健康増進	121	2,216,000
3. 環境保全	360	7,863,317
4. 文化財継承	88	1,891,000
5. 子育て支援	681	12,950,293
6. 青少年育成	69	4,303,000
7. 観光・定住促進	194	5,538,500
無. 町長選出/災害支援	214	7,792,108
合計	2719	64,102,584

3. ご寄附の指定用途による実施事業

●特産品開発に関する事業

事業名：ふるさとレストランプロジェクト事業
事業費：¥1,447,016
<p>本事業は平成29年度から実施しており、島外の一流シェフや飲食店経営者を招き、島内の食材や食品を紹介し、生産者との交流を持つことで、生産者の思いや島食材の良さを伝え、地元生産物のアピールと販路拡大を目的としています。</p> <p>本年度は、2回開催し、第1回は生産者ほ場を巡回し、生産者の声を聞き、食材に触れていただきました。第2回は一流料理人との新たな食材の魅力発見と題し、生産者との意見交換会を実施しました。生産者が積極的に発言し、今後の徳之島の食材の魅力をどう発信していくべきか等、協議することができ、有意義な時間となりました。</p> <p>また、ふるさと納税の返礼品として、島食材を使ったコースメニューをシェフの店舗で提供していただくことにより、ふるさと納税額の増加や島外の方々に島の食材を食べてもらう機会を設け、さらなる徳之島の宣伝効果を期待しています。</p> <p>今後も生産者が自信を持って作物を栽培・生産できるよう、食材の良さを宣伝するとともに、生産者自身にも地元食材の良さを知ってもらうよう取り組んでいきたいと思っています。</p>

ふるさとレストラン申込件数及び納税金額

店舗名	寄付金額(円)	申込件数(件)	寄付金額合計(円)
モノリス (東京都渋谷区渋谷)	50,000	156	7,800,000
ラ・フィネス (東京都港区新橋)	330,000	11	3,630,000
	200,000	9	1,800,000
銀座かつかみ (東京都中央区銀座)	100,000	14	1,400,000
	150,000	9	1,350,000
合計		199	15,980,000

※モノリス(H29年度本事業にてご協力いただいている店舗)

取り組み実績

○第1回 シェフツアー

日時：平成30年8月5日～8月6日

来島者 4名

杉本 敬三 氏	Restaurant La FinS	オーナーシェフ
阿部 光峰 氏	銀座 かつかみ	オーナー
香川 直信 氏	株式会社 Bo Project	代表取締役
伊藤 真拓 氏	株式会社 Country Crossing	代表取締役

8月5日

視察場所

ましゅ屋	工場	(犬田布)
パイヤ	ほ場	(阿権)
ごま・生姜	ほ場	(阿権)
ドラゴンフルーツ	ほ場	(阿権)
長命草	自生地	(犬田布岬)



パイヤほ場視察の様子↑

8月6日

視察場所

焼酎	酒造場	(伊仙) 松永酒造
マンゴー	ほ場	(伊仙)
グアバ・にんにく	果樹園	(伊仙)
コーヒー	ほ場	(伊仙)
島料理 畦	食堂	(徳之島町山)
シークニン	食品工場	(徳之島町轟) ダイキチ園芸食品



果樹園の加工品視察の様子↑



コーヒーほ場視察の様子↑

島の魅力、食材を知ってもらい、生産者との会話もはずんでいる様子でした。

○第2回 一流料理人との新たな食材の魅力発見～意見交換会～

日時：平成30年10月22日

場所：ほーらい館 調理室

参加者

料理人

日本料理 一凛 橋本 幹造氏
Ristorante HONDA 本多 哲也氏

地元食材・加工品生産者等

コーヒー・キャッサバ
ドラゴンフルーツ
パパイヤ 等 食材生産者(3名)

ましゅ
にんにく
黒糖
かしゃもち 等 加工品生産者(4名)
料理等関係者(3名)

プロジェクト関係者

(株)Bo Project. 香川 直信氏
(株)Country Crossing 伊藤 真拓氏
伊仙町長 大久保 明
伊仙町役場職員(6名)

地元生産者目線での栽培・加工などの意見と、シェフ目線での食材の調理法や良さ等、様々な視点からの意見を出し合う事ができました。

また、実際に調理をすることで、島の食材の良さを活かしたメニューの考案や食材の魅力を発見することができました。



成果報告

ふるさとレストランプロジェクト事業を経て、Restaurant La Fins(レストラン ラ フィネス)、銀座かつかみの伊仙町特別メニューがふるさと納税の返礼品として追加されました。

Restaurant La Fins

○伊仙町特別コース

- ・ 黒糖焼酎の特別カクテルとフィネスのフィンガーフード5種
- ・ 徳之島の豚足とホタテの温かいカルパッチョ、黒トリュフのドレッシング
- ・ 伊仙町の地鶏のコンソメと野菜のカクテル仕立て
- ・ その日の鮮魚を使った特別料理
- ・ 牛フィレ肉のステーキとフォアグラのロシーニ風、トリュフを使った黒糖焼酎のソース
- ・ 徳之島マンゴーのシャーベット
- ・ ココナッツ風味のブランマンジェにパッションフルーツとラム(ルリカケス)風味
- ・ ミニアルディーズ



こだわりの
とんかつを
コースでいただく
スタイルです。
揚げたての
究極のとんかつを
お楽しみください。



銀座かつかみ

○Aコース

- ・ 徳之島産和牛と米澤豚のスペシャルメニュー
- ・ 徳之島産野菜を使ったマリネサラダ
- ・ 徳之島産和牛のローストビーフ
- ・ 米澤豚のヒレカツ
- ・ 米澤豚希少部位のカツ
 - ・ 米澤豚のメンチカツバーガー
 - ・ 築地大雍の生車海老のエビフライ
 - ・ 米澤豚のロースかつ
 - ・ 徳之島産和牛の牛カツ・トリュフがけ
 - ・ 六種類から選べるお食事
 - ・ 徳之島産マンゴーのかき氷



銀座 かつかみ

Pair Dinner ticket

見本

No.

事業名：生活改善センター運営事業

事業費：¥1,215,000（真空包装機1台購入）

伊仙町生活改善センターは徳之島ならではの、豊かで多彩な食文化と新鮮な農林水産物を活かした「食育」「地産地消」の推進を図るとともに、地域資源を生かした地域の活性化を促進するとの目的により、平成9年に設置されました。設置されている備品は、おおむね20数年を経過し、老朽化が進み、安全性が危惧される状況にありました。

真空包装機は、徳之島の特産物である、パパイヤ、落花生、長命草などの加工作業に利用されていましたが、老朽化の進行と共に、同種機械の製造中止に伴い修理に必要な部品調達もできない状況となり、利用者には不便をきたすのが常態となっていました。

今回、新たに購入した真空包装機は、以前と比べて稼働能力も格段に高まり（真空する袋の数は、1袋から4袋可能となった）、利用者の作業能率の向上にも資するものです。現在、当センターにおいては、加工組合が「生のジャガイモの冷凍真空包装」を、地域女性連が「島のよもぎ餅」をそれぞれ試作しています。また、コーヒー生産者も真空包装機を利用し六次産業化へつなげる構想をもっています。

本設備の設置によって、従来よりも衛生面や保存期間の点で大幅に改善されました。

当センターが、今後も地域の方により手軽に、より親しみやすく、かつより安全に利用されることで、島の食材が、「特産加工品」として、あるいは「ふるさと納税返礼品」として広く提供されることを期待しています。



●健康増進に関する事業

健康増進施設「ほーらい館」

備品購入費：¥779,004

* フローティングポール (20本購入)

筋肉トレーニングやバランス感覚・インナーマッスルを鍛える道具として購入しました。

プール利用者、特に高齢者を対象に週に1回「アクアヌードル」レッスンにて使用しています。

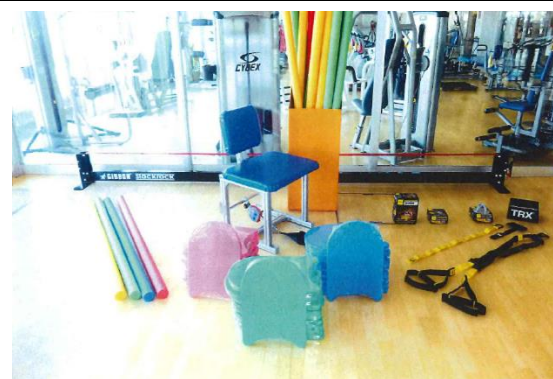
水の特性を生かした可動域の向上、浮きながらのリラクセス効果があります。



* カラービートボード (30枚購入)

筋力トレーニングや泳ぎの練習に使用する道具として購入しました。

子ども～高齢者までのプール利用者が対象で、上半身の筋力UPやバタ足練習などに使用します。



* スライドボードEX豪華版 (12個購入)

体幹コアバランスの改善、有酸素運動などトレーニングメニュー次第で全身の筋力が鍛えることが出来る道具です。

施設内スタジオで週1回「スライドボード」レッスンなどで使用しています。



*** 下肢筋力測定器 (1台購入)**

主に高齢者の下肢筋力の測定に使用するために購入しました。

日常のトレーニングの成果を把握することが出来ます。トレーニングジム利用者を対象に利用することが出来ます。



*** TRX (プロキット・Xマウント)**

バランス力・体幹の整合性・柔軟性・体幹を効果的に鍛える道具として購入しました

マシンなどの筋力トレーニングとは違い筋肉の運動性・柔軟性向上、全身の運動機能を総合的に鍛えることが出来ます。トレーニングジム利用者を対象に使用しています。



*** スラックライン 4M ライン付 (2個購入)**

不安定なベルト上で静止するだけでインナーマッスルを鍛えることが出来ます。

更に体を動かすことでより多くの筋肉を使うため身体能力の向上が期待できる道具として購入しました。

トレーニングジム利用者だけでなく放課後わくわくクラブに通う児童も使用しています。



*** ワイヤレスアンプ・マイクロホン (3個購入)**

施設利用者、レッスン講師がイベント等を行う時に使用する道具として購入しました。

プール、スタジオ、屋外での音響設備として活用しています。



●環境保全に関する事業

事業費：¥1,754,443

○義名山の森周辺防風林植栽事業

「義名山の森」は 希少植物の宝庫です。環境省の絶滅危惧種に記載されている種として13種が生育し、狭いエリアの中で多数の絶滅危惧植物のあるホットスポットと言われていますが、近年の大きな台風襲来により倒木が相次ぎ、希少種が減少傾向にあります。

その保護のため、「義名山の森」周辺に防風林の植栽を実施しました。



○外来種駆除事業

世界自然遺産登録に関し、国際自然保護連合(IUCN)の延期勧告に係る指摘を受け、希少種を脅かす外来種の侵入状況を調査しました。

そして希少種保護のため、元々ある自然環境に悪影響を与え、生物多様性を脅かすおそれのある“侵略的外来種”と言われるアメリカハナグルマやオオゴンカズラ(ポトス)等の駆除を実施しました。



○普及啓発と意識醸成

徳之島地区自然保護協議会との連携により、世界自然遺産登録に向けた「わきやしまのいきむんきゃシンポジウム」などの共催や懸垂幕（役場庁舎）による住民への啓発を行いました。



○徳之島地区自然保護協議会による活動

徳之島に生息する野生動植物は、世界的にみても貴重な財産です。島内に生息する希少な野生動植物の保護を図り後世に継承していく必要があることから、関係団体が相互に連携し、総合的な自然保護を推進するため、徳之島地区自然保護協議会は徳之島町・天城町・伊仙町の3町の委員15名(各町5名)で活動しています。

外来種駆除作業・希少植物盗掘防止パトロール等を随時実施しており、各種世界自然遺産関連事業の会議等に参加しています。

●文化の保存継承に関する事業

事業名：伊仙町「がんばる集落」支援事業

事業費：¥2,905,000

町内各集落の自治活動に対して、町が補助金を交付することにより、その活動を支援し、各集落の活性化並びに集落の抱える問題解決を行うことを目的として事業を設立しました。平成30年度は26集落のうち、14集落から応募があり、選考の結果、11集落に本事業を活用しました。

世界自然遺産に向けた集落美化・景観保持活動、高齢者や児童の安全確保のための看板設置、住民の健康意識改革のための健康ロード設置、交流拠点となる公民館トイレの改修、ゴミ置き場の整備、伝統文化継承事業（イッサンサン、稲すり節、八月踊り、棒踊り等）等を行いました。特に本年は伝統文化継承に関する取組を多く実施しました。

ここではその一つである喜念集落の「黒糖づくり体験」継承事業を特筆したいと思います。

黒糖づくり体験は喜念集落と喜念小学校が30年以上前より共同で、毎年行っている伝統行事です。子ども達が学校園で育てたサトウキビを原料として、サタグンマ（圧搾機）とサタヤドリ（砂糖たき小屋）を使用し、昔ながらの黒糖づくりを集落民が子ども達に伝承しています。今年はサタグンマ・サタヤドリの腐敗により、継続は困難とされましたが、同事業を活用して、サタグンマ・サタヤドリを再生し、例年通り行う事が出来ました。

この活動を通して、子ども達は地域の伝統・歴史や基幹産業について学び、集落内外の人々が多世代間交流を図ることができました。

本町では、都会と比し、集落文化が残っているものの、高齢化や人口減少の進行により、集落活力が衰退している現状も否めません。ふるさと納税を活用した本事業を継続して行い、各集落の自治活動を支援することで、本来、集落の持つ自治機能を維持・促進し、集落活性化に繋げていきたいと思っています。



『奄美新聞』2019年2月8日「学校名物の「サタグンマ」31年ぶり更新」より

<http://amamishimbun.co.jp/2019/02/08/16298/>

●子育て支援に関する事業

備品購入費：¥208,730

面縄幼稚園

* デジタルカメラ購入

園行事や日々の保育の様子を写真に収め週報などを通して保護者に園児の様子を伝えています。

また、卒園時に一人ひとりの園児にアルバムを作りプレゼントする等、写真を通してたくさんの思い出を記録として残すことができ、園児やその家族にも喜ばれています。

その他にも記録として残したいものや、報告書などへの写真添付時にも活用しています。



* 体重計購入

毎月の身体測定にて使用しています。

園児の成長を正確に確認するとともに、園児自身もまた自身の成長を喜び、身体への興味を持つことでこれからの成長に期待を持ち、楽しみに過ごすことが出来ています。



* 大型絵本購入

本読み活動の導入、読み聞かせ絵本として使用しています。

大型絵本は園児にとっても人気があり、読み聞かせをすると興味をもち、集中して楽しんでいる様子が伺えます。

また、絵本の世界から発想を広げ、遊びの幅が広がったり、園児同士の会話が盛り上がったり読み聞かせ時だけでなく様々な活動や遊びに繋がっています。



* ラジカセ・CDシステムを購入

リズム遊び・体操などのリズム活動に使用しています。園児も表情豊かにのびのびと活動している様子が伺えます。また、童話などの読み聞かせCDを流し、聞くことの楽しさを体験しながら、集中力や想像力も育てています。



伊仙幼稚園

* 跳び箱購入

運動遊び・自由遊びでの道具として使用しています。
最初は跳べなかった園児も繰り返し挑戦することで跳べるようになり、成功する喜びを感じている様子が伺えました。



* 竹馬購入

運動遊び・自由遊びでの道具として使用しています。
園児同士が支え合うなど協力し合いながら取り組むことで、関わりや信頼関係を深められている様子が伺えました。



* メガホン購入

園外行事や屋外活動で使用しています。
屋外活動時には全体への声掛けをすることが多く、メガホンを使用することで、園児に声が届きやすく安全面の確保等にも役立っています。
また、電池が使用できるので災害時や緊急時にも対応することができます。



* ラジカセ・CDシステムを購入

体操・リズム遊び等、園の活動の中で毎日使用するため、欠かせない機器です。
保育活動の区切りの際に決まった音楽を流すことで、活動の切り替えがしやすく、園児がスムーズに園生活を送るための手助けとなっています。



犬田布幼稚園

* 炊飯器を購入

食育活動の一環として、クッキングを行っており、その際に欠かせない機器です。

食への関心も高まり、食べることに意欲を持ちながら、楽しんで活動に取り組んでいます。



* ラジカセ・CDシステムを購入

幼児教育に置いてリズム活動や体操は必要不可欠な活動です。

毎日使用しており、運動機能の向上や、音楽を楽しむことにおいて、とても役立っています。

音楽が聞こえてくると園児も喜び、楽しくのびのびと活動している姿がみられています。



● 青少年育成に関する事業

事業名：青少年健全育成事業（親子チャレンジ教室）

事業費：¥ 884,380

町内の小学生・中学生及び保護者を対象として、地域の良さ（自然・文化・人）を活用し、体験活動をとおして青少年がその良さを感じ取れるよう、また家族が絆を深めることを目的として、「いせん親子チャレンジ教室」を開催しています。

さらに郷土愛を育むことを目指して毎月教室を開催しています。



第2回「魚釣り大会」の様子



第6回「かけっこ塾」の様子



第11回「野草観察会」の様子

伊仙町スポーツ少年団育成補助金を活用した事業

事業費：¥2,000,000

平成30年5月13日に、第44回伊仙町スポーツ少年団大会（野球・サッカー・バレー競技）を開催し、野球競技へ2団体、サッカー競技へ2団体、バレー競技へ5団体出場しました。

大会結果は野球競技が面縄レッドソックスチームが優勝、サッカー競技が伊仙サッカースポーツ少年団が優勝、バレー競技（女子）が伊仙バレースポーツ少年団、（混成）が阿権バレースポーツ少年団が優勝しました。

平成30年7月28～29日には2日間にかけて群島内各市町村にて、第45回大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会が開催され、上記大会にて優勝した各団体が出場しており、野球競技において、面縄レッドソックスが優勝しました。

また、派遣費の8割を町スポーツ少年団育成補助金より負担し、出場団体の経費負担軽減に活用しました。

各大会開催運営及び島外大会出場派遣費へ補助金を活用し、各スポーツ少年団へのより良いスポーツ環境づくりに取り組みました。

【第44回伊仙町スポーツ少年団競技別交歓大会の様子】



各種スポーツ大会出場補助金

事業費：¥744,515

団名：阿権バレーボールスポーツ少年団
大会名：第38回 全日本バレーボール小学生大会
鹿児島県大会
期日：平成30年6月23日(土)・6月24日(日)
会場：喜入総合体育館・横川総合体育館
結果：ベスト8



団名：伊仙中空手道部
大会名：九州中学校空手道競技大会
期日：平成30年8月4日(土)、5日(日)
会場：佐賀県総合体育館 大競技場
結果：一回戦敗退

団名：伊仙拳心館
大会名：第5回全九州少年少女空手道選手権大会
期日：平成30年6月23日(土)、24日(日)
会場：熊本市総合体育館
結果：ベスト4

団名：伊仙拳心館
大会名：第18回全日本少年少女空手道選手権大会
期日：平成30年8月4日(土)、5日(日)
会場：東京武道館
結果：二回戦敗退



団名：徳之島レスリングクラブ
大会名：第35回全国少年少女レスリング選手権大会
期日：平成30年7月27日～29日
会場：府民共済スーパーアリーナ
結果：ベスト16

各大会出場にあたりふるさと納税により多大な支援を頂きました。

各選手、感動を与えられる素晴らしいプレーをすることができ、大舞台での貴重な経験は将来必ず生かされるとおもいます。

●災害支援に関する事業

事業費：¥3,160,000

本町では、平成30年9月30日に最接近した台風24号により、民家や牛舎の全半壊等の被害に加え、堤防の決壊や漁船の流失等、国による「局地激甚災害指定」を受けるほどの被害に見舞われました。

本事業では、伊仙町総合体育館近くに台風ゴミ仮置き場を2カ所開設し、家屋等の損壊によるトタンや木材などの様々な廃棄物の受け入れ、分別作業、重機や大型ダンプを使用した災害廃棄物の運搬作業を行いました。



損壊した家屋

処理量

・産業廃棄物	
木くず	1,064.0m ³
プラスチック	6.5m ³
電化製品	23.0m ³
繊維くず	4.0m ³
トタン	83.5m ³
・一般廃棄物	2,689.0kg



1カ所目の仮置き場での仕分け作業の様子1



1カ所目の仮置き場での仕分け作業の様子2



2カ所目の仮置き場での重機で搬出作業の様子



2カ所目の仮置き場での搬出完了後の様子

4. 寄付者の皆様からのメッセージ

- ・伊仙町の発展を祈念しております。
- ・美味しいお酒を楽しみにしています
- ・伊仙町の豊かな自然から取れた農産物のファンです！これからも豊かな自然を守り続けて下さい！
- ・一度旅してみたいと思います。
- ・子育て支援に役立てて下さい。
- ・祖父の故郷です。応援しています。
- ・徳之島とは何かとご縁があり、以前訪問させて頂きました。
- ・これからも豊かな自然の存続と優しい住民の方の健康をお祈り致します。
- ・台風被害からの復興をお祈りします
- ・活気と活力のある伊仙町として今後も期待しております。
- ・町民の生涯活躍・健康寿命延伸にご活用ください
- ・応援してます！
- ・近年、徳之島も巨大な台風が来るようになり高齢者も多い事から非難場所の確保や施設備品(毛布や布団、非常食)などを充実させてほしいと思います。
- ・初めて寄付させていただきます。子どもたちに使っていただければと思います
- ・もっともっと活性化してってください。
- ・あと梅酒のくびくびをあげて頂きたいです。
- ・素晴らしい自然環境の維持をお願いします。
- ・海がきれいな所だと思います。いつまでもきれいな海でありますように。
- ・伊仙町の益々の発展を願っています
- ・これからも応援してます、頑張ってください！
- ・世界遺産登録に向けて頑張ってください
- ・今後も子育て支援の為に頑張ってください。
- ・徳之島が世界遺産になるように期待しています！
- ・自然を守ってほしい
- ・応援しています頑張ってください。
- ・今年の台風の復興にお役にたてただけると嬉しいです。
- ・大好きな徳之島観光大使から、紹介していただき、海の幸を食べてみたくくなりました。
- ・伊仙町面縄の海の風景を3人の友人で見たいと思います。
- ・応援しております。
- ・災害からの復興を祈念しております。
- ・祖父の故郷であり親戚が住んでいる親しみのある町です。
- ・いつまでも素晴らしい伊仙町であり続けるよう祈念してます。
- ・伊仙町出身です。親族の子どもたちの健やかな成長を祈っています。

- ・次世代のために、伊仙町で新しい生活を始める方々へよりよい学びの場を提供できるよう頑張ってください
- ・一度行ってみたいです。
- ・生まれ育った故郷を島を離れてから誇りに思います。
- ・台風の被害にあわれた方にお見舞い申し上げます。
- ・昨年、出張時に買った「島ばなな」がとても美味しかったです。自然豊かな徳之島が気に入っています。
- ・頑張ってください
- ・がんばってください。応援してます。
- ・来年鹿児島への旅行を検討していますので、ご当地の観光事業の発展に支援できればと思います。
- ・そのうち、一度遊びに行きたいです。
- ・我が祖先のふるさと伊仙町、皆様のお幸せをお祈り申し上げます！
- ・貴町出身の友人がおります。
- ・頑張ってください。
- ・台風被害の早急な復旧を願っております。
- ・コツコツと5年前から、伊仙町のふるさと納税が、一億円達成を願って応援させていただいております。
- ・多くの方々が、ふるさとにいけるように、航空券の値段が安くなると、大変嬉しく思います。
- ・面縄の今後のご発展と、ご活躍を、また、伊仙町全体の益々の飛躍を心から願っております。
- ・ファンが、増えること。役所の方々も大変だと、思います。未来の子どものため、私も、尽力してまいります。いつもありがとうございます😊
- ・上検福出身です、いつも応援しています。
- ・伊仙町の発展を心より祈願いたします。
- ・伊仙町役場の皆様、頑張ってください。応援しています。
- ・今回の台風被害に対し、お見舞い申し上げます。

たくさんの応援メッセージをありがとうございます。

皆様の想いを心に刻み、伊仙町の発展の為大切にに使わせていただきたいと思います。

5. まとめ

平成 30 年度も、多くの皆様の様々な想いの詰まった貴重なお志をいただき、ありがとうございました。今まさに日本中から注目を浴びる、伊仙町の暮らしを、これからも住民が受け継いでいくために、大切に活用させて頂きたいと改めて感じております。

平成 30 年度に特筆的だったのは、平成 29 年度より実施している「ふるさとレストランプロジェクト事業」による特産品開発事業で、首都圏の有名オーナーシェフをお招きし、地元の生産者、製造者の皆様との触れ合いや、島食材の新しいメニュー開発を通して、都内の店舗で「徳之島特別コース」として納税者に堪能していただいたプロジェクトです。

この事業では、地元生産物の魅力を再発見することと共に、これまで徳之島に御縁のあまりなかった方々にも、食を通じて伊仙町を知ってもらうことに繋がり、これからもメニュー提供いただく店舗を、更に増やしていく予定です。

他にも、平成 20 年度に開館した「徳之島交流ひろばほーらい館」への機材拡充による利用者の増加や、子育て支援・青少年育成事業による幼稚園への備品拡充や子供達への体験学習の提供など、様々な分野の事業にも、活用させて頂いております。

最後になりますが、この制度で伊仙町を知っていただいた方、以前から知っていた皆様と、これからも絆をつなげていけたらと思っています。本当に貴重なご寄付をありがとうございます。今後とも徳之島・伊仙町をよろしく願いいたします。

・。・。～・**・。・。・☆*。 お申込み・お問合せ ・。☆~・**・。・。・☆*

〒891-8293 鹿児島県大島郡伊仙町伊仙1842

伊仙町役場 未来創生課 ふるさと納税担当

TEL : 0997-86-3111 FAX : 0997-86-2301

EMAIL : furusatonouzei@town.isen.kagoshima.jp

・。・。～・**・。・。・☆*。 . . ☆*~ ~ . ** ☆* . . ~ . ☆